

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人あうん

1. 事業の総括

事業開始から12年が経過しました。前年度の実績を踏まえて、もう一度原点に戻り、『オーダーメイドの支援をめざす』『きめつけない』『あきらめない』の活動方針をもとに『あなたの希望を約束し、あなたの価値を認める』支援を行い、職員の資質の底上げ、スキルアップ、事業所としての実績を高いレベルで維持することに視点を置いて取り組んできました。

事業運営は、誰もが安全性と快適性を享受できるよう、新型コロナウイルス感染症が2類から5類感染症に移行したあとも、事業所内の感染予防対策はそのまま継続しました。感染対策は個人の判断に委ねられ、これまでの生活に戻りつつある中、所内においては前年度よりも単発的に陽性者が多く報告され、その都度、県や保健所からの指示を受けてまん延防止対策を講じてきました。また、職員の資質の底上げという点においては、法律に基づいた行動制限が撤廃されたことにより対面での研修が活発に再開され、個々の職員がスキルアップのために積極的に研修受講に臨むことができました。

就労移行支援事業について、令和4年度は年間の利用延べ人数が大幅に減ってしまいましたが、令和5年度は年間を通して定員の65%以上の利用者がキープされ、利用延べ人数も約650人増えました。その結果、利用率も約10%向上し、比較的高水準で安定した事業運営ができたのではないかと評価します。

利用に至るまでの経緯は様々で、特別支援学校の他、インクルーシブ教育実践推進校を卒業した方の利用や相談が増えました。障害者手帳のない方にも行政判断により支給決定がされ、サービス提供がされました。就労移行支援事業所としての役割や可能性は今後更に広がっていくことが期待され、当事者や行政からは個別のニーズに柔軟に対応することを求める声が増えていることがわかりました。

一般就労への移行は、過去最低の実績から徐々に盛り返し、10名の就労となりました。幼い頃からの夢、好きなことを仕事にしたい気持ちを強く持って、諦めずに何度もチャレンジした方もいました。近年は、初期から中期段階で離職してしまうケースも散見されます。就職してからも働く意欲や社会参加する喜びを感じて継続勤務ができるよう、今後は本人、企業、支援機関のみならず、家族や地域の関係機関も交えてチームで支援ができる体制を整えて、より効果的な支援につなげていくことが必要と考えます。

令和6年度は『障害者法定雇用率の引き上げ』『障害福祉サービス等の報酬改定』がされ、令和7年10月からは新たに創設される『就労選択支援』についての概要も明らかになりました。その流れを受けて、令和5年度には開催できなかった人材育成事業の研修会「イズム@JCT」を令和6年度は意義のある研修会として開催できるよう努めていきたいです。

最後に、令和5年度は事業所拡大のために物件探しを積極的に行い具体的プランも模索しましたが、安定した運用に迷いが生じて見送りました。近年、来所者や利用相談件数が減少傾向にあるため、多くの方に事業所を知っていただけるよう、新たな出会いを大切に、常に原点を忘れずに活動方針に磨きをかけていきます。そして、令和7年4月の新規事業所開設に向けて、成長と発展を目指します。

2. 事業内容

(1) 法人に係る事業

(ア) 理事会・社員総会

開催日		場所
5/21	第1回 理事会	法人事務所
5/29	第1回 社員総会	法人事務所
6/28	第2回 理事会	法人事務所
3/24	第3回 理事会	法人事務所

(イ) 新型コロナウイルス感染予防対策

JUNCTION厚木の事業運営上の対応

実施月	内容
通年	※前年度より継続 ・入室時、来客ならびに利用者への検温等基本的な体調確認の遂行。 ・アルコール消毒の設置、1日2回作業備品等の室内消毒の実施。 ・食堂、作業席の配置替え（対面での活動を極力なくした）を実施。食堂利用の2交代制。 ・面談室に飛散防止フィルムを設置。 ・来客名簿の連絡先記入項目を追加（万が一の時に備えた）。 ・神奈川県知事からのメッセージを、その都度読み上げて状況を解説し対応を指示。 ・日中活動時間内に20分間の『リフレッシュ（日光浴）タイム』を導入。 ・抗原検査キットを用いて、職員各自が定期検査を実施し、自己の体調管理を行う。 ・陽性者が発生した際は、神奈川県への報告義務により所定期間の報告、当該保健所からの指示により、N95マスクの着用等、感染拡大を防ぐ対策を実施。

(ウ) 福利厚生（処遇改善）事業

実施月	内容	対象者
10～12	インフルエンザ予防接種者に1人当たり2,000円を補助	接種者
6～9 11～2	夏季休暇5日間、冬季休暇5日間を有給として付与	職員全員
職員の誕生日	誕生日プレゼントを贈呈	職員全員
4～9 10～3	温浴施設利用券を平日10回配布	職員全員

(エ) 慰労金等の申請、支給等

【法人 独自対策】

実施月	内容
毎月	新型コロナウイルス感染症対策見舞金を1名あたり3,000円支給 (所定勤務日数に満たない職員については日割り計算)
毎月	物価高騰対策支援金を1名あたり2,000円支給

【神奈川県】

実施月	内容	支給金額
3月	<u>厚生労働省 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金</u> 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」(令和5年11月2日閣議決定)に基づき、障害福祉職員を対象に、収入を2%程度(月額平均6,000円相当)引き上げるための交付金	一人当たり 6,000円
8月 2月	<u>神奈川県障害福祉サービス 物価高騰対策支援金</u> 障害福祉サービス提供体制を維持するため、原油価格・物価高騰に直面する障害福祉施設等に対する事業継続に向けた支援金	120,000円
2月	<u>厚木市福祉施設光熱費等高騰対策交付金</u> 原油価格・物価の高騰の影響を受けている障害福祉サービス事業所等の負担の軽減を図り、安定したサービス提供を支援するための交付金 令和4年4月から令和5年3月までに要した経費が基準	60,000円

(オ) 研修

実施日	内容	参加者
6/17	夢と感動を育む研修会 体験学習 フォレストアドベンチャー箱根	職 員 8名
11/18	夢と感動を育む研修会 演劇鑑賞 劇団四季「ライオンキング」	職 員 8名 理 事 4名 他 1名
3/16	夢と感動を育む研修会 体験学習 円覚寺 写経会・坐禅会	職 員 8名

(カ) 障害者雇用に関する普及啓発事業

①ホームページ開設事業

事業内容	就労支援に関する情報提供を行い、事業所情報や活動内容、各種事業の案内を掲載。随時問い合わせを受け付け、対応できるようにする。 また経営情報を公表し、経営の透明性を確保する。
実施日時	通年

(キ) 職場定着支援事業 (通年)

事業内容	障害者が職場により安定的にできるよう、利用者の希望に応じて有料にて就労先で職場定着支援を行う
実施場所	対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
対象者	法人会員であり、職場での支援を求めている障害者

【支援実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問回数 (延べ)	30	38	34	34	31	39	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計件数
訪問回数 (延べ)	40	40	39	35	37	37	434件

契約対象者数：67名

(ク) 奨励制度

- 目的： 1. 対象者の就労を継続する意欲や労働生産性を高めるため
 2. 就労継続年数に対する評価を形にするため
 3. 対象者や家族、職員が次の目標に向かって再チャレンジするため

事業内容	・対象者には法人より祝い金と表彰状を贈呈する ・贈呈は、対象日から数えて1ヶ月以内とする
実施日時	随時
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内、本人の就労先
対象者	職場定着支援（有料）を契約し、規程の勤続年数を経過した者

【表彰者】 32名

- 1年達成： 4名（男性3名、女性1名）
 3年達成： 9名（男性6名、女性3名）
 5年達成： 7名（男性5名、女性2名）
 7年達成： 6名（男性4名、女性2名）
 10年達成： 6名（男性3名、女性3名）

(2) 障害福祉サービスに関する事業

事業内容	就労移行支援事業 一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための相談や訪問などの支援を行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の実習先（神奈川県を中心とした地域）
定 員	20名

事業内容	就労定着支援事業 就労移行支援等を利用し、一般就労に移行した障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を一定の期間にわたり行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
定員（実績）	40名以下（34名）

【来所者数】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (名)
来 所 者 内 訳	当事者	21	15	9	20	13	13	16	14	19	19	17	24	200
	保護者	19	15	6	9	19	5	6	13	10	5	11	11	129
	教員	2	3	5	15	2	6	9	7	7	5	1	4	66
	福祉 関係者	6	4	8	5	3	6	8	4	11	5	5	5	70
	その他	2	3	2	1	5	3	7	3	5	2	3	0	36
合計（名）		50	40	30	50	42	33	46	41	52	36	37	44	501

※福祉関係者には、相談事業所、就労移行支援事業所、行政(福祉課)の関係者などを含む。

会社(特例子会社など)の関係者はその他に含む。

【当事者の利用相談件数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (件)
件数	0	3	2	4	0	1	3	0	2	1	0	2	18

(ア) 就労移行支援

【概要】

〈定員〉	20名					
〈利用契約人数〉	24名（中途利用、退所あり）					
〈利用者の性別〉	男性13名　女性11名					
〈利用者の平均年齢〉	25歳					
〈障害者手帳種別〉	療育手帳	(A2)	2名	(B1)	2名	(B2) 17名
※重複あり	精神障害者保健福祉手帳	(2級)	2名			
	手帳なし		1名			
〈日中生産活動内容〉	下請け作業、自主制作					
〈職員数〉	常勤	8名（正規職員6名　非正規職員2名）				

【開所日数（職場定着支援対象者を除く）】定員：20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数	22	23	22	23	23	22	
登録利用人数 （職場定着支援対象者を除く）	20	20	17	16	16	15	
1日当たりの利用者数	18.5	17.0	14.0	13.5	14.3	13.2	
延べ人数	408	391	309	310	329	291	
実績利用率(%)	92.7	85.0	82.6	84.2	89.4	88.2	
定員に対する利用率(%)	92.7	85.0	70.2	67.4	71.5	66.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	23	22	23	22	21	22	268
登録利用人数 （職場定着支援対象者を除く）	15	14	13	15	14	14	189
1日あたりの利用者数	13.0	13.2	11.7	14.0	10.1	10.2	13.6
延べ人数	300	290	270	308	213	224	3643
実績利用率(%)	87.0	94.2	90.3	93.3	72.4	72.7	86.0
定員に対する利用率(%)	65.2	65.9	58.7	70.0	50.7	50.9	67.9

【就労者数と入退所者数】※就労アセスメント対象者を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
就労者	0	2	1	0	0	3	
新規契約者	9	0	0	0	0	0	
退所者	0	3	1	0	1	2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労者	0	0	1	0	2	1	10
新規契約者	2	0	0	2	1	0	14
退所者	1	1	0	1	1	2	13

(イ) 福祉施設実習受入れ

新卒者【特別支援学校、高等専修学校、定時制、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
生蘭高等専修学校	3	1	1	1
相模原支援学校	1	1	1	1
伊勢原支援学校 (伊志田分教室)	2	1	1	1
伊勢原支援学校	1	1	0	0
厚木西高等学校 (インクルーシブ)	2	2	2	2
綾瀬高等学校 (インクルーシブ)	1	1	1	1
厚木清南高等学校 (定時制)	1	1	0	0
7校	11名	8名	6名	新規6名

55%

既卒者【支援センター等、相談事業所、病院、行政、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
大和市障害者自立支援センター(大和市)※	1	1	1	1
結夢+ (海老名市)	1	1	1	1
結夢 (海老名市)	1	1	1	1
県央地域若者サポートステーション (厚木市)	1	1	1	1
愛川町役場 (愛川町)	1	1	1	1
ドリーム (伊勢原市)	1	0	0	0
ご家族 (綾瀬市) (厚木市)	2	0	0	0
7団体	8名	5名	5名	中途5名

63%

※ () 内は対象者援護地

※大和市障害者自立支援センター(大和市)は就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメント実施

(ウ) 生産活動

【下請け作業】

主な作業内容	場所
コットンテープ、ラベルの封入、封緘 他	藤沢市
コネクタへの配線セット 他	厚木市
箱折り、シール貼り 他	厚木市
カレンダーの封入、封緘 他	海老名市
広告の帳合作業 他	座間市
ビニール手袋封入、封緘 他	平塚市
マスク梱包、アクリルキーホルダーシール剥がし	厚木市

(エ) 工賃

月平均額 1,367 円 (平均月合計÷12 ヶ月)

月 (支払人数)	4 (20 名)	5 (20 名)	6 (13 名)	7 (14 名)	8 (13 名)	9 (12 名)
最高支払額 (円)	1,310	1,380	1,890	1,890	1,620	3,170
最低支払額 (円)	470	30	190	190	400	410
1 人あたり平均支払額 (円)	921	886	1,248	1,248	763	1,258
月 (支払人数)	10 (12 名)	11 (10 名)	12 (10 名)	1 (12 名)	2 (12 名)	3 (12 名)
最高支払額 (円)	740	3,830	5,480	4,040	1,470	1,750
最低支払額 (円)	190	500	440	670	130	20
1 人あたり平均支払額 (円)	363	1,992	3,394	2,290	810	1,235

※3 月分は令和 5 年 4 月に支給する。

(オ) 職場体験実習

実習月	日数	性別 (年代・障害種別)	作業内容
4	10	男性 10代・知的	空バケット整理、他
4	10	女性 40代・精神	非鉄金属の切断や加工、追加工、他
4	10	男性 10代・精神	インテリア製品等の製造
5	10	女性 20代・知的	社内外郵便物の集配作業の他、伝票記入、 スタンプ押印 他
7	10	男性 40代・知的	スポーツ用品の接客、品出し 他
7	10	男性 20代・知的	冷蔵庫内におけるピッキング
8	10	男性 10代・知的	オイルクーラーの平行度測定 及び修正作業、他
8	5	男性 10代・知的	調理補助及び盛り付け、 食器洗浄、他
11	5	男性 10代・知的	業務用食品のピッキング、仕分け、 梱包
1	13	男性 40代・知的	スポーツ用品の接客、品出し 他
1	7	知的 20代・知的	フードコート内の厨房における 食器洗浄、他
3	5	男性 20代・知的	ルート別出荷作業、仕分け作業 他
3	5	男性 40代・知的	靴の品出し、値付け、商品検品、清掃、接客補助 他

延べ 13件

(カ) 就労実績

採用年月日	性別 (年代・障害種別)	産業分類	作業内容
5/8	男性 10代・知的	倉庫業	空バケットの整理、他
5/16	女性 40代・精神	金属加工業	非鉄金属の切断や加工、追加工、他
6/12	男性 20代・精神	製造業	インテリア製品等の製造
9/1	男性 20代・知的	物流業	冷凍庫内におけるピッキング、他
9/19	男性 10代・知的	製造業	オイルクーラーの平行度測定 及び修正作業、他
9/28	男性 10代・知的	飲食業	調理補助及び盛り付け、 食器洗浄、他
12/1	女性 10代・知的	製造業	化粧品の充填、仕上げ、梱包、 検品作業
2/1	男性 10代・知的	物流業	業務用食品のピッキング、仕分け、 梱包
2/13	女性 20代・知的	飲食業	フードコート内の厨房における 食器洗浄、他
3/29	男性 20代・知的	物流業	ルート別出荷作業、仕分け作業 他

【その他】就労を祝う会 開催場所：作業室

実施日	対象者性別・年代・障害種別	参加者
5/2	男性 10代・知的	利用者 19名 職員 8名
5/12	女性 30代・精神	利用者 17名 職員 8名
6/8	男性 20代・精神	利用者 15名 職員 8名
8/25	男性 20代・知的	利用者 14名 職員 8名
9/13	男性 10代・知的	利用者 14名 職員 8名
9/22	男性 10代・知的	利用者 12名 職員 8名
11/27	女性 10代・知的	利用者 12名 職員 8名
1/25	男性 10代・知的	利用者 12名 職員 8名
2/8	女性 20代・知的	利用者 12名 職員 8名
3/28	男性 20代・知的	利用者 11名 職員 7名

(キ) 就労定着支援

【概要】

〈定員〉	40名以下					
〈利用契約人数〉	34名					
〈利用者の性別〉	男性25名 女性9名					
〈利用者の平均年齢〉	26歳					
〈障害者手帳種別〉	療育手帳	(A2)	2名	(B1)	6名	(B2) 23名
※重複あり	精神障害者保健福祉手帳	(2級)	3名	(3級)	1名	
	身体障害者手帳	(1級)	1名			
〈活動内容〉	面談、会社訪問					
〈職員数〉	常勤 4名（正規職員 3名、非常勤職員 1名）					

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録利用人数	26	27	26	26	24	23
利用人数	26	27	26	26	24	23
利用回数（延べ）	27	29	29	28	28	25
平均利用回数	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1
実利用率（％）	104	107	112	108	117	109

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録利用人数	22	22	23	23	23	24	289
利用人数	22	22	23	21	23	24	287
利用回数（延べ）	26	23	23	24	24	25	311
平均利用回数	1.2	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.1
実利用率（％）	118	105	100	104	104	104	108

(ク) 余暇活動

【外出】 4回/年

実施日	目的地	参加者	移動
6/30	初夏の鎌倉に行こう！！	利用者 21名 職員 4名	電車
9/27	八景島シーパラダイスで楽しもう！	利用者 16名 職員 4名	電車
12/20	秋の相模湖プレジャーフォレストで乗って、遊んで、食べて♪自然も満喫！	利用者 21名 職員 4名	公用車 レンタカー
3/7	早春の豊洲 チームラボと豊洲市場見て・遊んで・体験して新鮮な海産物や美味しい物を堪能しよう！	利用者 16名 職員 4名	電車

【旅行】 1回/年（希望者）

実施日	目的地	参加者		移動
7/5～7/6	鬼怒川温泉の旅 栃木県	利用者 職 員	5名 2名	レンタカー
10/30～10/31	広島を満喫しよう 広島県	利用者 職 員	4名 1名	電車
11/8～11/9	札幌・小樽を満喫しよう 北海道	利用者 職 員	3名 1名	飛行機 レンタカー
11/29～11/30	京都・大阪の旅 京都府・大阪府	利用者 職 員	3名 1名	電車
2/20～2/21	長野の風情を満喫しよう 長野県	利用者 職 員	3名 1名	電車
2/27～2/28	USJ&大阪を満喫しよう 大阪府	利用者 職 員	4名 1名	電車
3/13～3/14	夢の国！ディズニーリゾートで思いっきり楽しんじゃおう♪ (*^▽^*) ♪	利用者 職 員	15名 4名	バス 電車

（ケ）地震防災対策

〈委員会実施日〉

第1回 令和5年 6月15日（木）

第2回 令和5年 12月21日（木）

〈防災訓練実施日〉

第1回 令和5年 6月28日（水）

第2回 令和6年 2月26日（月）起震車体験

第1回地震防災訓練では、事業所内で地震が起きたことを想定し避難訓練を実施しました。訓練後、避難場所である厚木中学校まで実際に歩き、場所を確認しました。

第2回地震防災訓練では、広域避難場所であるぼうさいの丘公園に歩いて行きました。起震車体験と倉庫内備蓄の見学をさせていただきました。起震車体験では、大きな混乱はなく全員落ち着いて体験をすることが出来ました。自分の命を守るためのイメージトレーニングが出来るよう訓練の他にも日常から働きかけをしていきたいと思っています。

(コ) 研修

実施日	内容	参加者
5/19	課題共有カンファレンス2023 (NPO法人全国就労移行支援事業所連絡協議会)	職員 3名
6/27 7/20	業務継続計画 (BCP) の策定のための研修会 (神奈川県福祉子どもみらい局福祉部 障害サービス課 福祉施設グループ)	職員2名
8/31・9/5 8/21～10/31	障がい者就労支援力について考える 受講方法：集合研修・動画配信 (神奈川県障がい者就労支援力向上研修会)	職員1名
9/21	令和5年度 第1回 権利擁護 (ハラスメント対策) のための職員研修	職員 8名 実習生 1名
9/26	令和5年度 県央圏域就労移行支援事業所連絡会議 (社会福祉法人 県央福祉会 県央地域就労援助センター 障害者就労・生活支援センターぽむ)	職員1名
10/18	産業人材育成フォーラム 進めよう障がい者雇用！～ともに生きる社会を目指して～ (神奈川県産業労働局労働部 雇用労政課障害者雇用促進グループ)	職員2名
1/13・20・27 2/3	地域活動リーダー養成講座 ～アドラー心理学の「勇気づけ」対人スキルを学び、 地域活動の担い手を目指そう～ (【講座実施団体】輝楽理庵 (きらりあん))	職員1名
1/18	第2回 令和5年度 障害者虐待防止のための職員研修	職員8名
1/23～2/13 2/20	令和5年度 社会福祉基礎研修 (学び直し編) 受講方法：動画配信・集合研修・レポート提出 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
2/7、13、 14、19、20	就労支援の質と量を極めるための座談会 (ハローワーク厚木 吉川氏)	職員4名
2/20	令和5年度 社会福祉基礎研修 (学び直し編) (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
3/7	令和5年度 ティーチング・コーチング研修 ～職員の成長・定着をサポートするために～ (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
3/8	令和5年度 接遇リーダー研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
2/22～3/8	令和5年度 コーチング研修 ～コーチングの考え方と基本技術について学ぶ～ (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
2/26	報酬改定オンラインセミナー (NPO法人全国就労移行支援事業所連絡協議会)	職員3名
3/4	決算法人説明会及びインボイス制度説明会 (厚木市税務署 法人課税第1部門)	職員1名
3/5	成年後見制度普及啓発講座 「成年後見人等の役割～必要な人に繋ぐために～」 (厚木市権利擁護支援センター あゆさば (厚木市社会福祉協議会))	職員1名
3/13	令和5年度 職場の課題形成・問題解決研修 「職場の問題解決に向けて一歩を踏み出すために」～解決のプロセスと 自身の役割を学ぶ～ (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名

② 就労支援に関する人材育成事業

(ア) 研修会等開催事業 「イズム@JCT」

目的：

1. 「就労支援、地域支援の在り方について考える」
2. 「実のある関係と連動を生み出すための、人的つながりを創出する」
3. 「次世代を担う若年層支援者の活動を促進する」
4. 「その他、構成員が必要と感じることを実行する」

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、開催することが出来ませんでした。次年度は、開催が出来るよう準備を整えていきたいと思いをします。

(イ) 社会福祉士養成

目的：

1. 社会福祉士養成における相談援助実習生を受け入れ、育成する。
2. 相談援助実習に関わる意義を理解し、関連知識やソーシャルワークの専門性を高めていく。

受け入れ期間	
8/1～9/14（180時間以上）	立教大学 3年生
9/19～10/31（180時間以上）	日本社会事業大学 3年生（未修了）
12/4～12/15（60時間以上）	大原学園専門学校 通信課程
2/1～2/14（60時間以上）	日本社会事業大学 2年生（未修了）